

九州沖縄農業研究センターが「耐倒伏性」「高収量性」「耐病性」を目指して開発しました。

- ・耐倒伏性に優れる（倒れに強い）
- ・収量性が高い
- ・葉の病害に強い

極早生えん麦

# たちあかね

## 【ウエストとの比較】

倒伏（倒れ）に弱い「ウエスト」から「たちあかね」に変更しませんか。



「ウエスト」の試験区は3区とも倒伏  
(写真：千葉市)



倒伏に強い「たちあかね」2haの飼料畑  
(写真：熊本県合志市)

## 【「ウエスト」を栽培していて、こんな不満はありませんか？】

- 不満1. 「ウエスト」は倒伏に弱い、作業性が悪い、とご不満ではありませんか。
- 不満2. 春に乾草を取りたいが・・・収量が少ない、とご不満ではありませんか。
- 不満3. 葉の病気に弱い、とご不満ではありませんか。



## 【「たちあかね」に代えて不満解消！！】

- 解消1. 『たちあかね』は極早生えん麦トップレベルの耐倒伏性（倒れに強い）！！
- 解消2. 『たちあかね』は≪4月下～5月上旬収穫も多収≫で、安定した収量確保！！
- 解消3. 『たちあかね』は夏播栽培の重要病害「冠さび病抵抗性は極強」「葉枯れ病抵抗性は強」「かさ枯れ病・黒斑病抵抗性は強」で、飼料品質に優れる！！

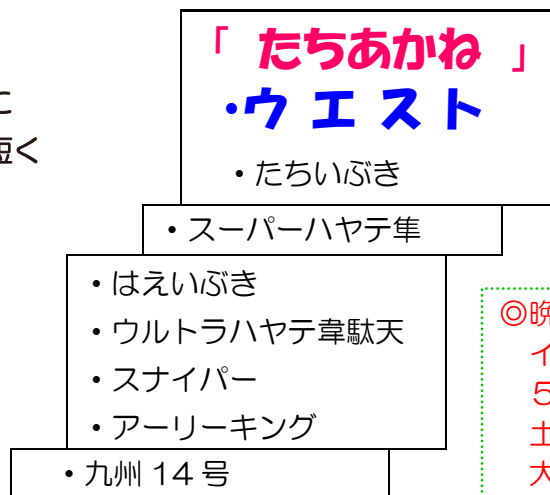
## ○「たちあかね」の 早晚性は 極早生種の中～やや晩です。

今までお使いの品種と早晚性・特性を確認のうえ「たちあかね」をご使用ください。

極早生の早 ⇔ 極早生の中 ⇔ 極早生の晩

### ○極早生の早は

晩夏・初秋の高温時に  
出穂が早まり草丈が短く  
なることがあります。



### ○極早生の晩は

晩夏・初秋の高温でも草丈  
が伸びて、収量は確保され  
ます。  
播種が遅れると出穂が少  
なくなります。

◎晩秋播種の「たちあかね」単播または  
イタリアンライグラス混播で4月下～  
5月上旬に乾草を収穫しませんか。  
土砂混入の減少も期待できます。  
大切な子牛に栄養価の高い粗飼料を与  
えましょう。

## ○「たちあかね」の特性を実感して下さい … 仲間に紹介できる品種です。

- ① トップレベルの耐倒伏性（倒れに強い）で収穫の作業性が改善されます。
- ② 葉の重要病害「冠さび病抵抗性は極強」「葉枯れ病・かさ枯れ病・黒斑病抵抗性は強」で、良質な収穫物が確保され、サイレージは飼料品質も改善されます。
- ③ 適期に播種し「たちあかね」の 安定した高い収量 を実感して下さい。

## ○「たちあかね」の播種期と播種量（散播利用の播種が多い。）

【晩夏播き時は】 ・最適期：9月上旬～下旬 ・播種量：5～8 kg/10a

\*9月下旬播種の年内低温の年は、出穂が少なくなります。

【晩秋播き時は】 ・最適期：11月上旬～12月上旬 ・播種量：5～8 kg/10a

【イタリアンライグラスとの混ぜ播き時は】

「たちあかね」4～6kg+イタリアンライグラス2～3kg/10aが目安です。

★混ぜ播き相手のイタリアンライグラスの品種には・・・

⇒ 晩夏播き時は、いもち病抵抗性品種「はやまき18」または「Kyushu1」がお勧めです。

⇒ 晩秋播き時は、低温伸張性が優れる「きららワセ」がお勧めです。

## ○ 播種時の留意点

- ・えん麦は播種後の滞水で発芽不良や生育不良になります。排水にご留意下さい。
- ・播種後の鎮圧は発芽揃いが良好となり、鳥害防止にもつながります。

【育成機関】 九州沖縄農業研究センター 暖地畜産研究領域 (熊本県合志市)

お問い合わせ先： 電話 096-242-1150 FAX 096-249-1002